

報道関係 各位

2018年9月5日
公益財団法人日本デザイン振興会

開催予告:最新グッドデザイン賞の受賞展
「GOOD DESIGN EXHIBITION 2018」を10月31日より開催
— 見つけよう!暮らしをつくるデザインのカー



GOOD DESIGN EXHIBITION 2018
イメージビジュアル(デザイン:原田祐馬)

公益財団法人日本デザイン振興会は、主催事業である2018年度グッドデザイン賞の受賞作を紹介するGOOD DESIGN EXHIBITION 2018を、10月31日から11月4日まで東京ミッドタウン(六本木)で開催します。

GOOD DESIGN EXHIBITION 2018は、来る10月3日に発表予定の最新グッドデザイン賞を受賞した商品、建築、ソフトウェア、プロジェクト、サービスなど、多彩なジャンルから選ばれる1,000点以上の「グッドデザイン」をすべて出展します。国内外、形のあるもの/ないもの、デザイナーの有名無名などを問わず、私たちの豊かな暮らしを形づくる力を持ったさまざまなデザインに誰もが出会える、グッドデザイン賞が贈るビッグイベントです。

会期: 10月31日(水)~11月4日(日) 11時~20時(最終日18時終了)

会場: 東京ミッドタウン(東京都港区赤坂9)

入場料: 1,000円(税込/5日間有効) 会場内一部無料エリアあり/大学生以下無料

主催: 公益財団法人日本デザイン振興会

後援: 経済産業省、中小企業庁、東京都、日本商工会議所、日本貿易振興機構(JETRO)、
国際機関日本アセアンセンター、日本経済新聞社、読売新聞、NHK(予定)

特別協力: 東京ミッドタウン

会場デザイン: トラフ建築設計事務所

グラフィックデザイン: 原田祐馬(UMA/design farm)

映像制作: ユーフラテス

什器協力: 石巻工房



昨年度会場の様子 Photo : Daici Ano

本件への報道関係者のお問い合わせ: 株式会社オズマピーアール 担当: 角田、新井、鈴木

Tel: 03-4531-0214 E-mail: jdp@ozma.co.jp



GOOD DESIGN EXHIBITION 2018

2018年度の“Design of the Year”

GOOD DESIGN EXHIBITION 2018で「グッドデザイン大賞」を初公開！

グッドデザイン大賞は、その年のすべてのグッドデザイン賞受賞作の中でもっとも優れているとされ、シンボルにふさわしいデザインとして、毎年1点に贈られます。過去の大賞受賞作には話題を集め、時代の象徴として語り継がれる名作も多数あります。

今回は10月31日にグッドデザイン大賞が決定し、同日から開催されるGOOD DESIGN EXHIBITION 2018会場で“2018年を代表するデザイン”として公開をスタートします。

参考資料：近年のグッドデザイン大賞事例ご紹介



2017年度大賞 / カジュアル管楽器 Venova
ヤマハ株式会社

サクソフォンなどアコースティック管楽器の特性を、デジタル技術を駆使して多くの人が扱いやすいサイズとディメンションに昇華。新しい感覚のカジュアルな管楽器として人気を呼んでいる。



2016年度大賞 / 世界地図図法 オーサグラフ世界地図
慶応義塾大学鳴川研究室＋オーサグラフ株式会社

長い伝統を誇るメルカトル図法などに不可避である図像の歪みや面積の狂いなどを廃した新しい地図図法。「中心のない世界観」というメッセージ性も共感を招いた。



2015年度大賞 / パーソナルモビリティ WHILL Model A
WHILL株式会社

障害者はもとより歩行力が弱まった高齢者の移動にも適した電動車椅子。直感的な操作性やスマートな外観とともに、スタートアップのベンチャー企業発という事業のあり方にも注目が集まった。



2014年度大賞 / 産業用ロボット VS-050S2
株式会社デンソー＋株式会社デンソーウェーブ

食品や医薬品の製造現場での活用を想定した成り立ちと機動性により醸し出される未来的な印象が話題となり、今でもテレビCMなどにひんばんに登場する。

GOOD DESIGN EXHIBITION 2018

GOOD DESIGN EXHIBITION 2018の主な企画

2018年度グッドデザイン賞受賞作品展示

10月3日発表予定の最新グッドデザイン賞受賞作品1,000点以上を紹介し、身近なステーショナリーから特殊な産業機器に至るまで、グッドデザイン賞ならではの多彩なラインナップです。

出展会場: ミッドタウン・カンファレンス(4F)、デザインハブ(5F)ほか



「グッドデザイン・ベスト100」特別展示

すべての受賞作品の中で特に優れた100点である「グッドデザイン・ベスト100」が一堂に集結、各領域をリードするデザインを見ることができます。

出展会場: ミッドタウン・ホール(B1F)、キャノピースクエア(1F)



「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」作品展示

人々から長く支持され続けるスタンダード・デザインに贈られるロングライフデザイン賞の最新作品を展示。会場では来場者からの「いいネ！」メッセージも募集します。

出展会場: ミッドタウン・ホール(B1F)



「アセアンデザインセレクション」作品展示

グッドデザイン賞がアセアン10カ国と協働してセレクトした各国のグッドデザインを紹介し、日本初公開品も多数。

出展会場: ガレリア3F



「スーペリアカンパニー」作品展示

今年度もっとも多くを受賞を記録した企業の作品を、各社オリジナルの空間設計によるスペシャルブースでプレゼンテーションします。

出展会場: ミッドタウン・ホール(B1F)

「GOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARA」ポップアップショップ

昨年も好評を博した、国内唯一のグッドデザイン賞受賞商品専門店であるGOOD DESIGN STORE TOKYO by NOHARAによる会場内限定ショップ。最新受賞商品がいち早く購入できます。

出店会場: アトリウム(B1F)



その他、特設ステージでのデザイナートーク、ワークショップ

※ 建築や大型商品などはパネルでの出展となります。

企画内容は変更されることがあります。

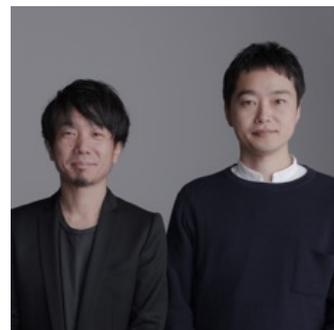
写真はすべて2017年度の会場風景です。

GOOD DESIGN EXHIBITION 2018 クリエイティブのご紹介

会場デザイン

トラフ建築設計事務所

鈴野浩一(すずのこういち/写真右)と禿真哉(かむろ しんや/同左)により2004年に設立。建築の設計をはじめ、インテリア、展覧会の会場構成、プロダクトデザイン、空間インスタレーションやムービー制作への参加など多岐に渡り、建築的な思考をベースに取り組んでいる。主な作品に「テンプレート イン クラスカ」「NIKE 1LOVE」「港北の住宅」「空気の器」「ガリバーテーブル」「Big T」など。「光の織機(Canon Milano Salone 2011)」は、会期中の最も優れた展示としてエリートデザインアワード最優秀賞に選ばれた。2015年「空気の器」が、モントリオール美術館において、永久コレクションに認定。2016年『トラフ建築設計事務所 インサイド・アウト』(TOTO出版)を刊行。



グラフィックデザイン

原田祐馬

1979年大阪生まれ。UMA / design farm代表。大阪を拠点に文化や福祉、地域に関わるプロジェクトを中心に、グラフィック、空間、展覧会や企画開発などを通して、理念を可視化し新しい体験をつくりだすことを目指している。「共に考え、共に作る」を大切に、対話と実験を繰り返すデザインを実践。グッドデザイン金賞(2016)、第51回日本サインデザイン賞最優秀賞(2017)など国内外で受賞多数。グッドデザイン賞審査委員、京都造形芸術大学空間演出デザイン学科客員教授。



関連情報:「私の選んだ一品」展を10月3日の受賞発表日から丸の内で開催

柴田文江審査委員長(写真左)、齋藤精一副委員長(同右)を筆頭とする、今年度グッドデザイン賞の審査委員86名が選ぶ、自らの「お気に入り」受賞デザインを紹介します。

会期: 10月3日(水)~11月4日(日) 11時~20時
会場: GOOD DESIGN Marunouchi(東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 1F)

入場無料



2018年度グッドデザイン賞は今後、以下の日程で発表や公開審査会を実施します。報道発表会については後日ご案内いたします。

- ・10月3日(水) グッドデザイン賞、グッドデザイン・ベスト100、グッドデザイン・ロングライフデザイン賞発表
- ・10月10日(水) ベスト100プレゼンテーション公開審査(グッドデザイン大賞候補などを決定するためのデザイナーによるプレゼンテーションを公開実施)
- ・10月31日(水) グッドデザイン大賞、グッドデザイン金賞、グッドフォーカス賞(新設)発表

2018年度グッドデザイン賞の受賞結果、GOOD DESIGN EXHIBITION 2018の詳細情報は、グッドデザイン賞のウェブサイト(www.g-mark.org)で随時公開します。